

日本YWCAの使命(ミッション)

イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する
世界の人人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

第30総会期主題

平和を実現する人々は幸いである一マタイによる福音書5章9節

日本YWCAビジョン2015

- (1) 非核・非暴力による平和を構築する
・平和憲法をまもり、世界に広める
・市民レベルで東北アジアの信頼関係を築く
・女性と子どもの権利をまもる
・パレスチナYWCAの活動を支援する
(2) 若い女性のリーダーシップを養成する

YWCA 8/9 AUG/SEP. 2010

発行所 日本YWCA
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-8
Tel. 03-3264-0661
【駿河台オフィス】
〒101-0062千代田区神田駿河台1-8-11
東京YWCA会館302号室
Tel. 03-3292-6121/FAX 03-3292-6122
E-mail. office-japan@ywca.or.jp
編集発行人 俣野尚子
振替 00170-7-23723 (毎月1日発行)
定価1部 150円
年間購読料2,200円(送料込)
www.ywca.or.jp

真実と和解を求めて

韓国併合とYWCA

鈴木伶子

1910年8月22日「韓国併合に関する条約」が調印され、日本が朝鮮(当時は大韓帝国)を植民地にしてから今年で100年目にあたります。日本による植民地支配は、現在もお深い爪痕を残しています。この夏、韓国併合の意味を改めて考えたいと思います。

1922年、日本の植民地地下で設立された朝鮮(当時)YWCAは、日本支部になることを避け、世界YWCAへの直接加盟を願った。世界本部からの問い合わせに対し、当時の日本YWCA総幹事河井道子が、植民地であっても直接世界YWCAに加盟することに異存はない、と返信したのは救いである。

鮮神宮などへの参拝を強要した。1938年、植民地地下でありながら世界本部に直結するYMCA・YWCA・矯風会などキリスト教諸団体は、警察懇談会に呼びつけられた。厳しく叱責されたと思われる。

ている3人の韓国YWCAの友人がいるが、その一人の尹命善(ユンミョクソン)さんは祖父の朱基(チュギ)牧師が神社参拝拒否のため投獄・拷問の末に殺され、もう一人の曹圭(ソグイ)恵(ソグイ)さんは父が山に逃亡していたため辛い少女時代を過ごし、叔母(オクモ)後に光州(クワジュ)YWCA総幹事となった曹亜羅(ソアラ)さんは妊娠中に投獄されているなど、日本支配の犠牲者を身内にもっている。中でも信仰一途な牧師であった祖父が、その信仰ゆえに虐殺された尹(ユン)さんは、激しい日本嫌いで有名であったが、私の謝罪を受け入れ、いまは私をオニ(オニ)と呼んで親しくしてくれる。

日本YWCAが植民地支配や朝鮮差別に対する認識をきちんと持っていたとは思えない。機関紙『女子青年界』には、関東大震災での朝鮮人虐殺に対する韓国から遠慮がちな手紙が掲載されているものの、それに対する応答はない。創氏改名に至っては「皆さん親しみやすいお名前におなりになった」と、一片の思いやりもない。「朝鮮の女学生への奨学金支援」などで、善良な隣人だと自己満足していたようだ。

韓国のキリスト教は抵抗思想が強く、抗日運動の中心にはキリスト者がいた。そのため、現在の韓国YWCAの会員にも、家族が日本植民地下で苦しめられたという人が多い。なかでも神社参拝を拒否したキリスト者には厳しい処罰が行われた。現在私が姉妹として親しくしている3人の韓国YWCAの友人がいるが、その一人の尹命善(ユンミョクソン)さんは祖父の朱基(チュギ)牧師が神社参拝拒否のため投獄・拷問の末に殺され、もう一人の曹圭(ソグイ)恵(ソグイ)さんは父が山に逃亡していたため辛い少女時代を過ごし、叔母(オクモ)後に光州(クワジュ)YWCA総幹事となった曹亜羅(ソアラ)さんは妊娠中に投獄されているなど、日本支配の犠牲者を身内にもっている。中でも信仰一途な牧師であった祖父が、その信仰ゆえに虐殺された尹(ユン)さんは、激しい日本嫌いで有名であったが、私の謝罪を受け入れ、いまは私をオニ(オニ)と呼んで親しくしてくれる。

土地を取り上げ、日本名に変えさせ、日本語使用を強要した日本総督府は、さらに皇民化政策を推し進め、天皇を祀った朝鮮

現在私が姉妹として親しくしている3人の韓国YWCAの友人がいるが、その一人の尹命善(ユンミョクソン)さんは祖父の朱基(チュギ)牧師が神社参拝拒否のため投獄・拷問の末に殺され、もう一人の曹圭(ソグイ)恵(ソグイ)さんは父が山に逃亡していたため辛い少女時代を過ごし、叔母(オクモ)後に光州(クワジュ)YWCA総幹事となった曹亜羅(ソアラ)さんは妊娠中に投獄されているなど、日本支配の犠牲者を身内にもっている。中でも信仰一途な牧師であった祖父が、その信仰ゆえに虐殺された尹(ユン)さんは、激しい日本嫌いで有名であったが、私の謝罪を受け入れ、いまは私をオニ(オニ)と呼んで親しくしてくれる。

たルワンダでは、「真実と和解委員会」が、過去の真相究明をし、加害者に罪の自覚を求めた。さらに日本バプテスマ連盟からルワンダに派遣された佐々木和之さんたちは、加害者が被害者のための家を建てるというプロジェクトを展開している。人の命を奪った罪は、真実の究明・謝罪・償いという道を通って和解へと導かれるのである。



新オフィス紹介



前号で紹介した通り、6月10日より日本YWCA駿河台オフィスでの業務がスタートしました。東京YWCA会館3階302号室が新オフィスです。窓辺にある小会議室は、会員の皆さんのくつろぎスペースにしようと思案中です。皆さまのお越しをお待ちしています。

に、国会による謝罪が、彼女たちの名誉を回復することである。
● 現在韓国では植民地下の親日家の洗い出しが進行している。当時の朝鮮YWCAリーダーは、当初、抗日運動に加わっていたが、その影響力の大きさをゆえに総督府や警察の圧力も強く、結局は親日家となっていた。韓国YWCAも身内の過ちという重い課題に直面していくが、その背景にある日本の圧力を考えると、猛省すべきなのは、植民地支配や皇民政策を無自覚に支えていた日本のYWCAである。昨秋の全国会員総会で「アジア・太平洋戦争の謝罪と未来に向けての決意表明」をしたYWCAの次のステップが求められる。(東京YWCA会員)

かつて歴史を正しく教えたいと夫が企画した「親と子のスタディツアー」で、中国の平頂山の虐殺記念館に家族で行った。「日本人であることが恥ずかしい、申し訳がない」と思った。でも瀋陽での高校生との交流は楽しかった。私が日本YWCAの常任委員をしていた時、夫が死んだ。夫は静岡で中国語講座と日本語学校を経営していたのだが、日本語学校の卒業生で中国語講座の講師であった人に刺されたのだ。1年半に及ぶ裁判で、大学院卒業後、就職できず人間関係もうまくゆかず病んでいた過程が明らかになった。そして「心身耗弱で善悪を判断する能力が著しく低下していた」との精神鑑定をさらに踏み込んで「心身喪失で善悪の判断基準を失っていた」として無罪判決が出た。10年の求刑通りか、悪くても7~8年だろうと思っていたのに...。検察は控訴しなかった。直後にYWCA全国総会があり、出席者の皆さんにも控訴を求める嘆願書に署名していただき、約90筆を提出したのがかわず、この人は中国へ送還された。「日本の国内問題です。内政干渉は出来ません。無罪になった人間ですから13億の中へ帰ればどこへ行つたかわかりません」と駐日中国大使館。親しくしていた中国人が何人か「中国人であることが恥ずかしい。申し訳ない」と言った。血の海の中で横たわっていた夫のやさらかな顔は、いろいろなことを語っていた。図らずも日本軍に殺されたたくさんの人たちの流されたおびただしい血・悲しみ・長く後を引く苦しみを追体験した私は、やはり国と国が、市民と市民が、平和に暮らすことを願う。若者が居場所を見つけ、喜びを感じることが出来るような日本であってほしい。YWCAのビジョンの一つに「市民レベルで東北アジアの信頼関係を築く」がある。世界に目を向け、地域に生き続けていきたいと願う。(静岡YWCA会員)

5年たちやっとお話し出来るようになりました
署名ありがどうございまして

石原清美

韓国併合と わたしたちの課題



香山洋人

(日本聖公会司祭、
立教大学チャプレン)

1910年の「韓国併合に関する条約」から今年で100年目を迎えます。しかし日本による朝鮮侵略の議論は古く、具体的な動きは1870年代に始められています。「植民地時代」だけが問題ではなく、そこに至る過程を見ても必要があるでしょう。

近代国家日本の拡張と発展を考える上で、隣国朝鮮が地政学的に重要な位置を占めていたことはもちろんですが、もう一つ、天皇制の理念に関わる重要な問題がありました。天皇制のモデルは中国の皇帝であり、属国に朝貢させる代わりに保護を約束する「皇帝」を中心とした帝国統治のシステム(冊封体制)が前提とされています。しかし日本の天皇は国外に属国を持っておらず、「皇帝」に必要な冊封体制は存在しませんでした。明治になり近代国家として出発した「大日本帝国」ですが、当初はまだ「帝国」の実態はなく、その頂点に君臨する天皇も支配する他国を持っていませんでした。「韓国併合に関する条約」によって朝鮮を冊封し自らの属国とすることで天皇はようやく文字通りの「皇帝」に比する存

在となり、大日本帝国もかつて「帝国」としての体裁を整えることができるようになったのです。「韓国併合に関する条約」の前段階にはさまざまな条約がありました。それらはすべて「日清・日露戦争」を行うための条件整備でした。軍事的にも、経済的にも、天皇を中心とした帝国の理念においても、日本にはどうしても朝鮮が必要だったのです。

長い間、王朝を中心とした封建主義体制を維持していた朝鮮は名目上中国(清)の庇護下にありましたが、19世紀に入り欧米列強の侵攻が始まると旧来の体制では立ち行かないことが明らかになります。こうして改革の必要に迫られたことは日本とよく似た事情だったといえるでしょう。朝鮮の改革運動のひとつは、一足先に近代化に突入した日本をモデルとするものでした。高級官僚であった金玉均(1851~1894年)は、福澤諭吉などの後押しを得て維新を遂行(「甲申政変」、1884年)。けれどもこれは失敗に終わります。

「甲申政変」から10年ほど前

福澤は世界を「文明」の度合いによって分類する考え方を発表しています(『文明論乃概略』)。その中で福澤は、欧米を理想の文明国とし、日本はそこに向かう途上であり、朝鮮や中国は日本に劣る段階と分類しています。ちょうど「江華島事件」をきっかけに日本による朝鮮支配の第一歩が記されたのと同じ時期のことです。福澤はその朝鮮が日本に倣って文明開化の道を進むことを期待しましたが、金玉均らの政権奪取は失敗します。その後の混乱の有様などを知るにつけ、福澤はついに「脱亜」を宣言します。欧米諸国からは日本も朝鮮も中国も同じアジアとみなされてしまいが、こんな「悪友」と一緒にされるのはなほだ迷惑だ。昔のいきさつは捨てて「悪友」との付き合いを絶ち、これからは欧米諸国と同じ態度でアジア諸国に接すればいい。「甲申政変」の翌年、1885年、福澤諭吉は『時事新報』にこのような趣旨の論説を発表しています。

近代国家として日本が文明国の仲間入りをするためには「遅れたアジア」との謝絶が必要だったということでしょう。言

うまでもなく日本は、あらゆる面で中国大陸・朝鮮半島との関係の中で文化を形成し、政治的にも深い関係がありました。「朝鮮通信使」の例を見るまでもなく、中国や朝鮮の人々は敬意と信頼の対象であったことは確かです。もちろん隣国同志です。それから侵略・小規模な武力衝突・海賊行為なども起こっていました。互いの工夫と努力によって共存共栄すべき関係、それが同じ文化圏に属する東アジアの姿だっただけです。けれども日本は「脱亜」の道を選びました。福澤の思想は、一個人のものではなく近代日本のイデオロギーそのものとなったのです。

日本の近代化とは、欧米による植民地支配の版図に自らを組み込むことであり、欧米とともに支配する側に立つこと、「アジア」であることを止めて植民地支配者となることを意味しています。そして、欧米並みの近代国家日本・支配者・植民地主義者としての日本を成り立たせたのが隣国朝鮮です。朝鮮を侵略し搾取することは、当時の日本にとって軍事的にも政治経済的にも必要なことと思われてい

ましたが、一方、文化史・精神的な意味からも、自分の中の「遅れたアジア」・「忌むべき過去」を否定して近代人として再出発するために、当時の日本人にはどうしても朝鮮をマイナスイメージとして浮かび上がらせ、それを否定し、攻撃し、なきものとする必要があったのではないのでしょうか。

1875年の「江華島事件」から日本による朝鮮侵略は具体化しますが、朝鮮側による抵抗もさまざまな形で行われていました。

1894年、農民軍の蜂起を口実に朝鮮半島に上陸した日本を排除するために清も朝鮮に侵攻、ついに両軍は衝突し「日清戦争」が始まります。最初の戦場は朝鮮の水原でした。日本にとってももちろんこれも織り込み済みでした。農民軍制圧という名目で派遣された日本軍は1900名ほど、朝鮮王朝軍2800名も日本軍の指揮下になりました。日本軍が初めて国外で行った戦闘は、朝鮮農民軍の殲滅でした。農民軍側の死者は20万、あるいは40万人という記録もあります。日本軍は農民軍だけでなく一般の農民も見境なく殺し、投降した捕虜も取調べもせずに殺して、日本政府が「みだりに殺すべからず」と指令を出すほどでした。

1904年、ロシアとの戦争を機に日本は事実上朝鮮を軍事占領します。その後いくつかの協約・条約が結ばれ、日本による朝鮮支配の形式が整えられま

した。1910年の「韓国併合に関する条約」はこのような背景の中で結ばれました。最近ではこの条約の有効性を疑問視する研究が数多く発表されていますが、大切なことは、合法あるいは非法の疑いがあるものであれ、このような二国間条約によって植民地支配が行われたという表面的事実ではなく、日本は欧米列強の砲艦外交に屈して以来、後進帝国主義国として生き残るために長年アジアを食い物にし、そのために友好と善隣の過去をも否定したということであり、隣国朝鮮はその最大の被害者だという事実そのものではないのでしょうか。

1945年、日本が敗戦し連合国側は戦争裁判を行いました。長年にわたって過酷な被害を受けた朝鮮は戦勝国側に入ることはできませんでした。あれは「植民地支配」だったのであって、日本と朝鮮は戦争をしたことにはなっていないからです。東洋教徒や農民数十万人を殺しても、強制労働などでどれ

ほど多くの死者が出ても、日本の支配に抵抗して拷問を受け死した人がいたとしても、詐欺のような手段で土地を奪い食料を奪つても、炭鉱や工事現場の労働力、あるいは性奴隷として多くの人々を蹂躪しても、朝鮮は敗戦国日本に対して罪状を突きつける権利はありませんでした。

真実は、わたしたち市民一人ひとりが自覚し、そして解決に向けて取り組んでいくしかありません。「韓流ブーム」といわれるながら北朝鮮に対する憎悪は深まるばかりです。総連系の民族学校の生徒に対する暴力は後を絶ちません。けれども、今ほど日本社会が韓国に関心をもち、草の根の交流が活発になっている時代もないかもしれませ

ん。このことは確かな希望であり、今こそ隣国の人々、日本に住む在日の人々とともに平和のために働く準備が整ったのではないのでしょうか。

晋州YWCA&福岡YWCA
日韓ユースボランティアキャンプ

2003年に始まり今年で第8回目を迎える日韓ユースボランティアキャンプは、晋州市と開催地を交互に、毎年8月の下旬1週間程度、中学生と大学生リーダー計40名、50名で開催している。

晋州YWCA&福岡YWCA 日韓ユースボランティアキャンプ

歴史問題や領土問題など取り組むべきことは多いが、初めて国際プログラムに参加する中高生が多いことから、まずは知り

ひとりひとりと
友達になる夏
MAKE A PEACE



2009年8月
熊本県菊池溪谷
流しソーメンは、
竹を切りだすところからやりました

韓国併合100年 ユースの声

あなたと私と 韓国の人々と



日本で韓流が大流行して5年は経つが、熱気を増している。韓国製品が店頭に並び、ウォン安で韓国旅行に行く人が増え、韓流スターが続々と日本に進出している。韓国でもドラマをはじめとして、多くの日本の文化が輸入されている。こうしてみると、日本と韓国は文化を通して感性や認識の国境を越えている。

しかし東北アジアの信頼関係や平和構築においては、模索すべき点が多い。5月10日、日韓歴史認識の相互理解を踏み込んでいこう。

声にもある通り、私たちは歴史認識の相互理解を踏み込んでいこう。

名古屋YWCA 坂本 著

考えなければならぬ。市民レベルで、お互いを受け入れ、理解する作業をていねいに積み重ねる必要がある。どんなに小さなことでも相手を知ることから始めたい。事実や現状を受け止めて、出来ることを見つけたら疑問を持ち続けたりして、距離を縮めていきたいと思います。少し勇気のいることかもしれないけれど、何でもチャレンジし、周りにも共に歩むことを伝えていきたい。文化の国境を越えることの出来た日本と韓国なら、きつと理解し合える。たつた一つの地球に生きるあなたと私と韓国の人々とだから、せつかくなら共に楽しく生きる社会をつくりたい。些細なコミュニケーションや小さな触れ合いから、共に平和をつくりたい。



「平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。」
(マタイによる福音書5章9節)

平和を実現する人は、幸いである。この聖書の言葉は、他国の言葉で読むときに、より深く私の心にしみ込んでいきます。英語ですと、"Blessed are the Peace maker"と書いてあります。中国語の聖書には、このように書いてありました。「使人和睦の人は有福！」。人を和睦させる人は幸いだと直訳できます。ここから想像させられる平和をつくることは、私たちの日常生活の中で、自分も含めて人々の心を和やかにし、仲睦まじい関係をつくっていくような働きのことではないかと、新たに思わされました。その働きは、とても地味であり、骨が折れ、時間がかかるといえます。しかし、「実に、キリストはわたしたちの平和であります」(エペソ2章14節a)にあるように、神と私たちの間を隔てる罪の壁も、敵対し合う人間たちにある敵意という壁も、すでに打ち壊してくださった平和そのものである救い主が、私たちと共に働いてくださることを忘れずにいるならば、私たちを通して、私たちの毎日の現場に平和が築かれ、それがじわじわと広がっていくのではないのでしょうか。

石塚多美子 (日本バプテスマ同盟大島新生教会牧師)

文化交流を 永続的に!



東北アジアの信頼関係を築くために私たちに必要なことは、確立した文化交流(アイトル・漫画・音楽等の分野)を永続的に行うことが大切だと考えます。このように考える理由は二つあります。

一つ目は、娯楽文化が外国人の興味を引き金になっていると考えるためです。例えば韓国語はわからないけどドラマは好きという方がたくさんいます。そして観光で実際に現地に行ってみると、気に入ります。そうして国を知るきっかけとなっていくので、娯楽文化は外国人の興味の火付けに大きく貢献していると考えます。私は1年間、韓国に留学していましたが本屋には日本のアイドルの写真・漫画がたくさん並んでおり、韓国人の娯楽文化の熱の高さに大変驚きました。

二つ目に、確立された娯楽文化交流を永続的に行えば戦争を起させない要因にも繋がると考えるためです。過去の歴史を見ると、戦争はほとんどが食糧問題から起きています。それもそのはずで、自然とは気まぐれな生き物のようで、突然干ばつを引き起こしたり、大洪水を起したり、固い大地でさえも地震で切り裂くことも可能なのです。昔、この気まぐれな自然現象により多くの人々が飢餓に陥ったり、また戦争を引き起こしました。近代では貿易が盛ん

に行われるようになり、食べ物に不自由しなくなったり、自然を採ることも可能になったため戦争は激減しました。私は、この貿易関係で互いの不足分を補い助け合うために娯楽文化交流を永続的に行うことは大切であり、両国の強固な絆の礎にもなると信じています。

以上の点から、私は、東北アジアの信頼関係を築くために、娯楽文化交流を永続的に行うことが大切であると考えます。

大阪YWCA ボランティア ア・リーダー 坂本大和

2010年5月6日

内閣総理大臣 鳩山由紀夫 様
文部科学大臣 川端達夫 様

日本YWCA
会長 俣野 尚子
総幹事 西原美香子

要請書

—朝鮮学校への「高等学校授業料無償化の適応除外」の解除を求める—

2010年4月から民主党の政策により、高等学校授業料無償化制度が実施されることになりました。これは子どもたちの学ぶ権利を保障するための制度ではありますが、在日する朝鮮学校は、「拉致」問題や日本が朝鮮民主主義人民共和国と国交がないことを理由に、未だにその適用から除外されています。

平和憲法を守り、東北アジアの信頼関係を構築するため、また、女性と子どもの権利を守るために活動してきました私たち日本YWCAは、以下の理由から、日本政府に対して、一刻も早く朝鮮学校への「高等学校授業料無償化の適応除外」を解除すること強く要請いたします。

1. 日本政府が批准している子どもの権利条約に明記されているように、教育はどの子どもたちにも一外国籍の子どもたちにも一保障されなければなりません。国連人権差別撤廃委員会も、今回の高等学校授業料無償化制度から朝鮮学校を除外することは、子どもたちの教育に差別的な影響を及ぼす行為として懸念を表明しました。(2010年3月17日)
2. 朝鮮学校は、朝鮮が日本の植民地とされた時代に、姓名を奪われ、自国語の使用を禁じられた人々が、戦後日本において、母国語を取り戻そうと自発的に始めた学校です。その存在は、日本の過去の歴史の過ちとも関わります。また今、学んでいる生徒たちは、「拉致」問題とは無関係の在日四世五世であり、韓国籍の子どもたちも少なくはありません。これらの子どもたちの学習権を国際問題のゆえに奪うことは、差別・いじめに他なりません。子どもたちこそ、将来の東北アジアの友好に大きな可能性をもつものです。

以上、日本YWCAは、日本政府が日本に在住するすべての子どもたちに等しく教育の機会を拓くように求めます。

合う、友達になることを願いに「ひとりひとりと友達になる夏・MAKE A PEACE」をテーマとしている。

内容は、人と知り合い関わり合えるのは楽しいことだと気づく、誰かのために共に働くことはうれいことだと知る、互いの文化に関心を持つ、この3つを柱に組み立てている。

プログラムは、福祉ボランティアもしくは環境を考える活動、ホームステイ、文化交流体験、テーマを決めてのグループ発表などである。言葉の壁はあっても、最終日には笑顔と号泣で、疲れるまで手を振りあい船に乗るのが恒例となった。

楽しさが全面に出たキャンブであるが、2005年2月には独島(竹島)問題で、晋州市がある慶尚南道では次々に市民交流中止が発表され、官公庁と市民団体の合同でどのような行動をとるか協議がなされるという状況であった。キャンブ開催は無理だろうと、市民レベルの積み重ねの脆さ弱さを思い知らされた。

幾日かして晋州YWCAから連絡があり、前年の参加者が「キャンブはどうなるのか、福岡YWCAが困っているなら自分たちに何かできることはあるか?」と聞いてきたそうである。福岡の参加者と彼らが出会ってなければ、このような言葉は出なかつただろう。たとえ独島(竹島)問題で開催できなくてもこれまでの積み重ねの価値があったと晋州と福岡の関係者で喜びを共有することができた。

参加者だけでなくお互いの会員のプログラムへの関わり方の違いを知り、刺激を受けている。さらに、継続して行うことで、率直に意見が言える関係ができて、会員や職員が少ない地方のYWCAにとって、本当に姉妹のような大きな支えでもあり、学びでもある。

今年8月9日から13日の4泊5日、晋州での開催。福岡YWCAからはこれまでで最多の28名が参加。有機農法の村での活動と高齢者施設でのボランティア体験を中心に行う。今年も参加者の笑顔と共にキャンブが開催できることを感謝している。

福岡YWCA
江副史子・長下美香



「もっと知りたい 韓国シリーズ」を終えて

函館YWCA

4月から6月までの3カ月にわたり、函館YWCAピースプランニング委員会主催で「韓国文化」「従軍「慰安婦」問題」「韓国の教育事情」という3つのテーマを掲げ、「もっと知りたい韓国シリーズ」を開催しました。

第1回は、私が講師として5年間の韓国生活をもとに現代の韓国文化を紹介し、第2回は道南女性史研究会の大場小夜子さんを講師として迎え、ここ函館にも非常に深い関わりがあった「慰安婦」問題に関し、第3回

は九州大学助教の田中光晴さんを迎え、激化する韓国の教育事情及びそれによって生じる頭脳流失等の社会問題について取り上げました。また各回韓国伝統茶や軽食を提供し、大変好評をいただきました。

参加者の中には、数多くの質問はもちろんです。もっと韓国という国について学びたいと相談をしてくださった方や、韓国への留学を決心してくれた高校生もいて、一人ひとりの心の中で韓国に対する何かが変わったのではないかと考えています。

「近くて遠い国」と言われ、偏見と無関心という大きな壁を抱えていたつい一昔前の日韓関係からは想像も出来なかったこの関心の高さに、次のステップへと時代が変わったことを実感しました。

「ヨン様」から始まったこの韓国ブームが一過性のブームで終わらず、日韓双方がお互いの国に對し関心、そして正しい知識を持ち、本当の意味での「近くて近い国」になることを心から願っております。

大学では社会福祉を専攻。卒業後、共同作業所の職員、名古屋YWCA・日本YWCA・日本キリスト教協議会(NCC)の幹事を経験。殊にNCC時代はエキシメニカルな平和運動に力を注ぐ。2006年から再び日本YWCAの幹事として働く。そして今年4月総幹事に。

「この職をお受けすべきか悩んでいるとき」お母さんは招かれたんでしょ!? という子ども言葉に「神さまからの招きに

応えて恐れず進もう」と決心しました。「今まで強いリーダーシップを持った総幹事たちを見てきましたが、私は縁の下の力持ちタイプ。旧約聖書の出エジプト記のミリアムにみるリーダーシップのように、運営委員やスタッフ一人ひとりのタレントが十分に発揮できるように働く」と努めています。また、一人ひとりの働きをキリスト教基盤に立つYWCAの働きと繋げて活動の意味づけしていくことも役割の一つだと思っています。

新事務所の感想は? 「うれしいことに、北京YWCA訪問団の受け入れ、中高YWCAカンファレンスの実施、高校生の職業体験授業の受け入れなど、東京YWCAとの協働の兆しがすでに見えています」と、明るく希望に満ちた表情で締めくくられました。新総幹事の働きに祝福あれ!(編集委員 実生律子)

60年前の6月28日、旧軍港市だけに適用される特別法「旧軍港市転換法(以下軍転法)」が、憲法に基づき旧軍港4市の住民投票で、大多数の賛成を得て誕生し、今なお生きています。

8条からなる軍転法の第1条は、「この法律は、旧軍港市(横須賀市・呉市・佐世保市及び舞鶴市をいう。以下同じ)を平和産業港湾都市に転換する

ことにより、平和日本実現の理想達成に寄与することを目的とする」と謳っています。その適用を受けて学校・公園・病院等へと多く転用されました。

しかし呉市の場合、現在に至るまで最初計画されていたように移譲はされず、海軍の軍事施設がそのまま日米軍の弾薬庫として居座っている事実があります。2003年までに呉市議

会は6度にわたり、軍転法に基づき一貫して返還要求を決議していますが、実現していません。実はこの法律の公布・施行のわずか3日前に朝鮮戦争が始まり、再軍備が進められていくことになりました。つまり軍転法が誕生した時点で、同時にその主旨に反する行為に加担する道も残っていたことになる訳で、結果、今日に至るまでそのせめぎ合いは続いていると言えます。

呉YWCAでは、今年6月、軍転法誕生60年の節目に、市民団体「ピースリンク広島・呉・岩国」と共に「呉市の未来を考えよう」という集いを開きました。軍転法は、成り立ちからして呉市における平和憲法、第9条の実現ともいえるべきものであることを再確認すると共に、米軍弾薬庫の返還への私たちの動きが、軍転法を生み出した民の思いを活かすことであり、呉が真に平和産業港湾都市となり得ると考えています。その延長上に岩国が、沖繩がはつきりと見え、日米安保条約が他人ごとではなく、身近なこととして意識されると思っています。

「近くて遠い国」と言われ、偏見と無関心という大きな壁を抱えていたつい一昔前の日韓関係からは想像も出来なかったこの関心の高さに、次のステップへと時代が変わったことを実感しました。

「ヨン様」から始まったこの韓国ブームが一過性のブームで終わらず、日韓双方がお互いの国に對し関心、そして正しい知識を持ち、本当の意味での「近くて近い国」になることを心から願っております。

大学では社会福祉を専攻。卒業後、共同作業所の職員、名古屋YWCA・日本YWCA・日本キリスト教協議会(NCC)の幹事を経験。殊にNCC時代はエキシメニカルな平和運動に力を注ぐ。2006年から再び日本YWCAの幹事として働く。そして今年4月総幹事に。

「この職をお受けすべきか悩んでいるとき」お母さんは招かれたんでしょ!? という子ども言葉に「神さまからの招きに

応えて恐れず進もう」と決心しました。「今まで強いリーダーシップを持った総幹事たちを見てきましたが、私は縁の下の力持ちタイプ。旧約聖書の出エジプト記のミリアムにみるリーダーシップのように、運営委員やスタッフ一人ひとりのタレントが十分に発揮できるように働く」と努めています。また、一人ひとりの働きをキリスト教基盤に立つYWCAの働きと繋げて活動の意味づけしていくことも役割の一つだと思っています。

「軍転法」をご存知ですか?

呉YWCA

京都YWCA・APT 読売福祉文化賞受賞



京都YWCA・APT(アプト)は、Asian People Togetherの頭文字から名付けられ、多文化共生社会の実現を求めて活動を行っているグループです。このAPTが昨年度、第7回読売福祉文化賞を受賞しました。

この読売福祉文化賞は、21世紀にふさわしい福祉事業に取り組んでいる個人・団体に贈られるもので、新たな福祉文化を創造する「担い手」に授けられるものです。

APTは日本に暮らす外国人が必要とする情報や援助を提供し、彼女ら彼らを長期的に多方面からサポートすること、そ

して、日本社会が人権を尊重する開かれた社会となるような働きかけを行うことを目指しています。「外国人へのサポート活動」としては、毎週2回(月・木曜)の多言語による無料電話相談を設置し、問題解決に必要な法制度についての情報を提供するほか、シエルトア紹介、病院・法律相談所・行政機関への通訳同行を行っています。また「外国籍の親を持つ子どもたちのプログラム」として、各種イベントや、個別の学習支援活動にも取り組んでいます。相談支援活動と並行して、多文化を背景に持つ人々への理解を深

め、共生できる社会づくりを指して、保育園や小中学校等への多文化共生教育の出張授業を行う「多文化共育プログラム」も実施しています。この他、人身売買問題への取り組みや、行政機関との連携も行ってきました。

このような私たちの活動が、将来を担う福祉活動として認められ、受賞できたことを、大変うれしく思います。これからも私たちの活動をより充実させていきたいと思っています。

京都YWCA 堀部碧

「協力ありがとうございました」

賛助費

鈴木みき 堀江寛子 渡辺美恵子
和田妙子 江尻礼子 鈴木千鶴子
田中宏子 岩崎妙子 松村ユカリ
山中光子 古川道子 三股まさ子
神山妙子 萩原 正 三股奈津子
関口静子 鈴木 栄 高橋美佐子
設楽順子 夕崎陽子 高橋美佐子
中村紀子 小松陽子 朽木美奈子
鹿野幸枝 島田淳子 由良喜久子
俵 恭子 片山淳子 松原恵美子

泉 和子 武内富貴代
狩野紀昭 松井倫子 小山内まり
江副富子 清井よし 長尾真里子
小泉陽子 石井寛治 横山キミイ
寺島順子 篠原洋子 具島美佐子
桐村巨子 青木基子 木田みな子
井出 都 遠藤洋子 平岡千代子
五味優子 服部 素 武井喜美子
渡辺順子 星野花枝 吉行あぐり
実生律子 江崎啓子 大工原則子
小林俊子 長塩滋子 大澤恵美子
川村悦子 望月和子 望月桂一郎
森田矩子 今井菊江 田村三保子
水野潔子 町田裕子 中西トク子
服部友子 今井美令 山本貴美子
西村律子 諏訪昭子 森際真知子
首藤和子 宮原栄子 五十嵐康子
毛利亮子 汐崎康子 上村愈巳子
小貴ツマ 谷口道子 市川真美恵
森 克子 佐藤待子 武藤ハツエ
旦 節子 北村和子 堀口千恵子
本城智子 三宅泰子 小野寺寛子
鶴崎祥子 出かす子 柴沼喜久子
長 清子 松下俱子 和田千鶴子
磯貝裕子 都木恵子 黒田とめ子
古銭ミネ 野村春江 大澤千鶴子
伊藤悦子 野村香江 大田八千代
渡辺文子 山路雅子 近藤真由美
荒井重人 浅田和美 田村恵美子
鎌原恵子 高橋栄子 有賀三奈子
野呂幸子 大村直子 平木貴美子
小林多美 鴨打美弥子 布村美弥子
田中浩子 秋元靖子 八重樫照代
川尻泰子 金子宏子 中平多恵子
渡辺聡子 八木高子 阿部喜久子
横井容子 松岡信子 谷川いつみ
深田光代 岩橋百合 島海百合子

布村耐子 松岡励子 佐々木真千子
森 晶子 寺嶋公子 伊藤いく代
島田律子 辻 加代 杉田佐紀子
阿部万子 湯前知子 奥平せい子
塩見志保 宮澤玲子 原田由美子
村上伸 村上雅子 渡辺寿美子
柴田静子 仁科秀雄 仁科謙太郎
米原静子 原田早苗 栗原佐代子
和泉崇子 松本京子 岡野美和子
神津房子 島田麗子 篠 眞紀子
嶋田 紫 須部道子 小林喜美子
三浦篤子 秋枝薫子 坪田未沙子
岸田晃子 今井菊江 中山美津江
村松幸子 今堀愛子 武井真美子
大野綾子 小川郁子 竹田とし子
斉藤純子 秋田 稔 高月三世子
川西 薫 山田愛子 小泉迪子
寺山朝子 北原恵美 石川和子
廣田容子 石川和子 安江恵津
今井 栄 阿部有三 三宅純子
上原睦子 角田 健 藤原絹代
大塚シゲ 村山成乃 伊藤眞代
梅本弘子 内海公子 板橋俊子
世界YWCA賛助費 江副富子
平和教育資金 鶴崎祥子
オリーフの木暮金
千葉康美 大西しげ子 長谷川頌子
沖繩YWCA
国際協力募金 広島YWCA
(フアラYWCA洪水被災者支援)
札幌YWCA
(ハレスチナYWCA支援)
鶴崎祥子
事業支援寄付
石井摩耶子 板橋俊子 熊江雅子
(2010年6月20日現在 敬称略)

新総幹事紹介



西原美香子さん

そのために心がけていることは? 「みんなの思いに耳を傾け、話し合いを大切にしながら仕事を進めること。また意見を求められれば即答、書類のチェックは30分以内に担当者に返すよう心がけています。活動の担い手が動きやすい環境づくり、それは、活発な全国運動の展開に繋がると思っています。」

新事務所の感想は? 「うれしいことに、北京YWCA訪問団の受け入れ、中高YWCAカンファレンスの実施、高校生の職業体験授業の受け入れなど、東京YWCAとの協働の兆しがすでに見えています」と、明るく希望に満ちた表情で締めくくられました。新総幹事の働きに祝福あれ!(編集委員 実生律子)